

高度の医療技術の開発及び評価の実績

○主な研究費の内訳

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
免疫・炎症と心不全の進展:HMGB1の役割	久保田 功	第一内科	1,600	補文部科学省科学研究費 委
心血管病の発症における自然免疫とpentraxin 3の役割	久保田 功	第一内科	1,000	補(財)先進医薬研究振興財団 委
Pentraxin 3 の心不全発症と進展における役割	竹石 恭知	第一内科	1,900	補文部科学省科学研究費 委
動脈硬化治療の新しい標的:マクロファージ転写因子MafB	渡邊 哲	第一内科	1,000	補文部科学省科学研究費 委
肺動脈性高血圧症におけるToll like receptorの役割について	二藤部 丈司	第一内科	1,800	補文部科学省科学研究費 委
C型肝炎ウイルス感染に関連する脂質生合成酵素遺伝子(TM 7 SF 2)の解析	齋藤 貴史	第二内科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
糖尿病に関連性を示したTNFa遺伝子IVS1+123G/A多型の機能解析	諏佐 真治	第三内科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究	大門 真	第三内科	500	補(財)長寿科学振興財団 委
海馬のマルチショット拡散強調画像を用いた高齢者うつ病と軽度認知障害の比較	林 博史	精神科	200	補文部科学省科学研究費 委
治療抵抗性うつ病における、オランザピンまたはリチウム併用療法の治療効果の検討	鈴木 昭仁	精神科	800	補文部科学省科学研究費 委
遺伝性ニューロパシーの病態解明および治療法の検討	早坂 清	小児科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
先天性好中球減少症におけるG-CSF受容体遺伝子異常の臨床的・生物学的意義	三井 哲夫	小児科	800	補文部科学省科学研究費 委
小児脳疾患における介在ニューロンの病態解明	加藤 光広	小児科	1,600	補文部科学省科学研究費 委
先天性中枢性肺胞低換気症候群の病態解明	佐々木 綾子	小児科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
ミトコンドリアネットワーク形成障害の病態について	沼倉 周彦	小児科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
乳幼児突然死症候群の病態解明	小田切 徹州	小児科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
家族性若年発症糖尿病の症状発症の分子メカニズムの解析	北中 幸子	小児科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
若年発症糖尿病の症状発症の分子メカニズムの解析	北中 幸子	小児科	1,000	補ノボノルディスク成長・発達研究 委賞事務局
若年発症糖尿病の症状発症の分子メカニズムの解析	北中 幸子	小児科	1,500	補(財)母子健康協会 委
ヒト脳運動野の脳溝面の機能の解明	嘉山 孝正	脳神経外科	2,500	補文部科学省科学研究費 委
加齢による慢性酸化ストレスに伴う稀突起膠細胞の動態及び大脳白質病変発症機序の解明	竹村 直	脳神経外科	1,100	補文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
Hsp70の神経保護作用-Bax translocationの抑制-	土谷 大輔	脳神経外科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
慢性脳虚血におけるオリゴデンドロサイトの動態、大脳白質病変発症抑制に関する研究	小久保 安昭	脳神経外科	1,300	補文部科学省科学研究費 委
神経膠腫の腫瘍幹細胞維持機能の解明：低酸素環境の関与についての研究	櫻田 香	脳神経外科	2,000	補文部科学省科学研究費 委
眼皮膚白皮症を呈する疾患の病態および病因遺伝子産物の機能解析	鈴木 民夫	皮膚科	4,400	補文部科学省科学研究費 委
アールエヌエー編集障害により発症する遺伝性対側性色素異常症の病態解析	鈴木 民夫	皮膚科	600	補文部科学省科学研究費 委
皮膚におけるTNF- α 変換酵素の機能解析	川口 雅一	皮膚科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
siRNAを用いたアポトーシス関連分子機能制御による泌尿器悪性腫瘍の治療法の改良	富田 善彦	泌尿器科	700	補文部科学省科学研究費 委
自然免疫システム(TOLL-LR)は泌尿器科癌の分子標的治療の対象となるか？	富田 善彦	泌尿器科	600	補文部科学省科学研究費 委
泌尿器科癌におけるGSK3ベータ抑制による分子標的治療の可能性の検討	ビリーム ウラジミル	泌尿器科	700	補文部科学省科学研究費 委
治療の適正化を目指した糖尿病網膜症の網膜血管構造・機能の分子構造解析	山下 英俊	眼科	1,800	補文部科学省科学研究費 委
高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究	山下 英俊	眼科	500	補(財)長寿科学振興財団 委
ヒト強膜細胞由来細胞株を用いた強膜リモデリングの検討	上領 勝	眼科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
アレルギー性鼻炎のステロイド体制化機能の解明と関与分子を標的とした治療法の開発	太田 伸男	耳鼻咽喉科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
ELAC 2を用いた頭頸部扁平上皮癌のアポトーシスの研究	野田 大介	耳鼻咽喉科	2,400	補文部科学省科学研究費 委
食道癌の化学放射線療法に対する反応予測法の開発	根本 建二	放射線科	700	補文部科学省科学研究費 委
上皮成長因子(EGF)受容体シグナル伝達経路を分子標的とする卵巣癌化学療法の開発	倉智 博久	産科婦人科	4,500	補文部科学省科学研究費 委
神経回路形成に関わる神経突起の伸長における性ステロイドホルモン作用の解析	高橋 一広	産科婦人科	1,700	補文部科学省科学研究費 委
誘導型NO合成酵素の発現調達に関わるエストロゲン受容体 α と β の相反する作用の解析	堤 誠司	産科婦人科	2,900	補文部科学省科学研究費 委
Aktカスケートを介した黄体ホルモンによる乳癌細胞増殖作用とその機序の解析	阿部 亜紀子	産科婦人科	533	補文部科学省科学研究費 委
分子生理学的手法を用いた子宮平滑筋の収縮制御に関するイオンチャネル特性の解明	高橋 俊文	産科婦人科	900	補文部科学省科学研究費 委
卵巣癌の薬剤耐性化機序の解明と新しい分子標的治療の開発	太田 剛	産科婦人科	2,600	補文部科学省科学研究費 委
喫煙肺気腫におけるMafBの肺胞マクロファージアポトーシス抑制機序の解明	柴田 陽光	検査部	1,500	補文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
転写因子PU. 1による肺胞マクロファージへの分化調節機構の解明	阿部 修一	検査部	1,300	文部科学省科学研究費 委
人工股関節素材磨耗粉に対するDGK依存症骨髄マクロファージ反応機構の解析	高木 理彰	リハビリテーション部	600	文部科学省科学研究費 委
心房リモデリングの成立機序解明に関する研究	宮本 卓也	集中治療部	1,700	文部科学省科学研究費 委
損傷脳におけるグリア細胞による修復機構の解明	伊闌 憲	救急部	2,200	文部科学省科学研究費 委
日本人における新生児高ビリルビン血症病態の解明	金井 雅代	救急部	1,700	文部科学省科学研究費 委

小計 5

計 49

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Heart Journal. 2008 Jan;155(1):75-81.	Pentraxin 3, a new marker for vascular inflammation, predicts adverse clinical outcomes in patients with heart failure.	Suzuki S	第一内科
Circulation Journal. 2007 Oct;71 (10):1573-1579.	Elevated serum fibrin-monomer levels are associated with high long-term cerebrovascular event rates in acute ischemic stroke patients.	Tamura H	第一内科
The Journal of infectious diseases 2007 Oct;196:1006-1009	Risk of hepatocellular carcinoma and secondary structure of hepatitis C virus (HCV) NS3 protein amino-terminus, among patients infected with HCV subtype 1b.	Nishise Y	第二内科
Journal of gastroenterology and hepatology 2007 Aug;22:1265-70	Serum levels of stem cell factor and thrombopoietin are markedly decreased in fulminant hepatic failure patients with a poor prognosis.	Okumoto K	第二内科
European Journal of Neurology 2007;14:428-434	A polymorphism of the aldehyde dehydrogenase 2 gene is a risk factor for multiple lacunar infarcts in Japanese men: the Takahata study.	Nagasawa H	第三内科
Journal of the Neurological Sciences 2007;255:27-34.	Microalbuminuria is a risk factor for cerebral small vessel disease in community-based elderly subjects.	Wada M	第三内科
Tohoku journal of experimental medicine 2007;212:91-99.	A palatinose-based balanced formula improves glucose tolerance, serum free fatty acid levels and body fat composition	Oizumi T	第三内科
Year Note 2008 Selected Articles. 2007:695-705.	ポルフィリン症。	大門 真	第三内科
日本内分泌学会雑誌 2007;83:120-123.	日和見感染症を合併し、メチラポンにて病勢コントロールを行い軽快したクッシング病疑いの一例	諏佐 真治	第三内科
日本内分泌学会雑誌 2007;83:56-58.	成長ホルモン產生下垂体腺腫の薬物療法	亀田 直	第三内科
日本内分泌学会雑誌 2007;83:113-116.	2回の手術にて寛解せず、メチラポンによる病勢コントロールの上、γ-knife治療を行い治癒に至ったクッシング病の一例	亀田 直	第三内科

小計： 11

(様式第11)
2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
「神経疾患の治療」 東京;中外医学社, 2007:270-273.	Wilson病治療のスタンダードは	永沢光	第三内科
神経内科 2007;67(2):126-132.	遺伝性ceruloplasmin欠損による「cerebro-retino-diabetic disease」(無セルロプラスミン血症)	川並透	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:194-196.	膠原病に伴うニューロパチー.	栗田啓司	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:196-198.	糖尿病に伴うニューロパチー.	加藤丈夫	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:198-200.	腎不全と透析に伴うニューロパチー.	川並透	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:200-202.	血管炎症候群に伴うニューロパチー.	和田学	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:202-204.	肉芽腫性疾患に伴うニューロパチー.	永沢光	第三内科
「最新整形外科学大系 第22巻 末梢神経疾患 筋疾患 循環障害」 東京;中山書店, 2007:204-205.	好酸球増加症に伴うニューロパチー.	小山信吾	第三内科
「今日の治療指針」 (2007年版) 東京;医学書院, 2007:616-617.	手根管症候群.	加藤丈夫	第三内科
「痴呆疾患診療ガイドライン 今日の治療指針」 (2007年版) 東京;医学書院, 2007:1556-1558.	日本神経学会ガイドライン.	加藤丈夫	第三内科
International Immunology. 2007;19:1191-1209.	Human CD4+ central and effector memory T cells produce IL-21: effect on cytokine-driven proliferation of CD4+ T cell subsets.	Hayasaka K	小児科
Journal of Human Genetics. 2007;52:921-925.	De novo polyalanine expansion of PHOX2B in congenital central hypoventilation syndrome: unequal sister chromatid exchange during paternal gametogenesis.	Hayasaka K	小児科

(様式第11)
2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Human Genetics. 2007;81:361-366.	A Longer Polyalanine Expansion Mutation in the ARX Gene Causes Early Infantile Epileptic Encephalopathy with Suppression-Burst Pattern (Ohtahara Syndrome).	Kato M	小児科
Neuroscience Letters. 2007;425:192-194	No association between the -3081A/T polymorphism in the norepinephrine transporter gene promoter and personality traits in healthy subjects.	Suzuki A	精神科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry. 2007;31:395-398	No association between the TPHA218C polymorphism and personality traits in Japanese healthy subjects.	Suzuki A	精神科
European Psychiatry. 2007;22:462-465	Association study of catechol-O-methyltransferase Val158Met polymorphism with personality traits in Japanese healthy volunteers.	Ishii G	精神科
Neuroscience Letters. 2007;411:77-80	CYP2C19 polymorphism affects personality traits of Japanese females.	Ishii G	精神科
Comprehensive Psychiatry. 2007;48:465-469	Influences of parental rearing on the personality traits of healthy Japanese.	Oshino S	精神科
Neuroscience Letters. 2007;427:99-102	The -181A/C polymorphism in the excitatory amino acid transporter-2 gene promoter affects the personality trait of reward dependence in healthy subjects.	Matsumoto Y	精神科
Journal of Neurosurgery. 2007 Apr;106(4):575-81.	Prognostic significance of surgery and radiation therapy in cases of anaplastic astrocytoma: retrospective analysis of 170 cases.	Nomiya T	がん臨床センター
World Journal of Gastroenterology. 2007 Apr 21;13(15):2250-4.	Chemoradiotherapy for a patient with a giant esophageal fistula.	Nomiya T	がん臨床センター
Radiotherapy and Oncology. 85(3),(2007),429-434	A phase II study on stereotactic body radiotherapy for stage I non-small cell lung cancer.	Nemoto K	がん臨床センター
Yamagata medical journal. Vol.25 no.2 p.27 -32	Low-dose radiation therapy for steroid resistant Kasabach-Merritt syndrome.	Nemoto K	がん臨床センター
Esophagus (2007) 4:103-110	A new N category for cancer in the esophagogastric junction based on lymph node compartments.	Nemoto K	がん臨床センター